



他人を思いやる ということ

大阪教育大学附属平野中学校 1年生

所在地: JR天王寺一駅東

私は、車いすで、東(天王寺)から難波まで行けるのか?と疑問に思い、その疑問を確かめるために、車いすはないけれど代わりに妹のベビーカーを使って、実際に試してみることにしました。

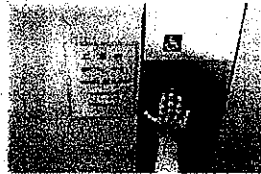
行きは地下鉄を使い、帰りはJRを使い、と色々な交通手段を使って、天王寺から難波間を移動することにしました。

まず、始発の難波は家から駅までの間にあるエスカレーターでした。となりにあった、階段よりはずっと楽ですが、車いすの人は、どちらでも降りられないんじゃないか、と思いました。また、その疑問を母に尋ねてみると、「ここから少し離れた所にエレベーターは、ある。」、と聞きました。それを聞いて私は、車いすだと、きちんと細かい所まで調べてから、現地に行かないといけないんだな、と実感しました。

次に地下鉄の駅で、いくつかのバリアフリーを見つけました。

一つ目は、改札口で駅員さんがいる所から一番近い、改札は車いすの人が通れるように、人が三人横に並べるくらい広い改札口がありました。

二つ目は、改札とホームをつなぐエレベーターで、ボタンが車いすの人でも押しやすいように、低い所にも設置されていました。



地下鉄でのバリアフリー

三つ目も同じくエレベーターで、エレベーター内に手すりがついていました。これは私の予想ですが、たぶん視覚障害者やお年寄りの方の安全のために設置されたんだと思います。

四つ目はホームで、車いすの方が簡単に乗る時に駅員さんが板を出してきて電車とホームに横のようにつけて、段差をなくしてスロープをつくり、車いすの人を簡単に乗せていました。

私が地下鉄の駅で見つけたのはたった四つでしたが、身近な所から他人のことを考えている人がいるんだと知りました。

そして、帰りのJRでは地下鉄で見つけたものに加えていくつも見つけました。一つはエレベーターの表示板にも点字



JRでのバリアフリー

がつけられていたことです。

二つ目はゆかが平らだったことです。地下鉄は地面がタイルだったりスロープがあったりと少し大変でしたがJRはとてもきれいでツルツルで、とても段差が



JRでのバリアフリー

整っているんだなあ、と驚きました。これらのことを通して私は、十分便利になった世の中だけど、まだまだ人の手を借りないと十分じゃ動けないことが多くあるので、私も車いすの方たちのために、何か役立ちたいと思うようになりました。